

↑ 仕上がり位置 ↑

2 cm くらい

2 cm くらい

アナログ原稿にある**内枠**。見た事はあるだろうか。この中に文字を入れておけば、冊子にした時に読めなかったり、読みにくかったりしないよ、という範囲のガイドラインだ。

(時折、この内枠までしか絵も文字もない原稿があるけれど、これは回りが結構な範囲で白くなる。印刷所側で絵の範囲に合わせて拡大等はしないのでそういうデザインでない場合は注意してほしい)

みかんの樹のテンプレートには内枠がない。消さなければいけないレイヤーが残っているデータをそのまま印刷してしまう等の事故を防ぐためだ。

※レイヤー未統合のデータは不備データです。

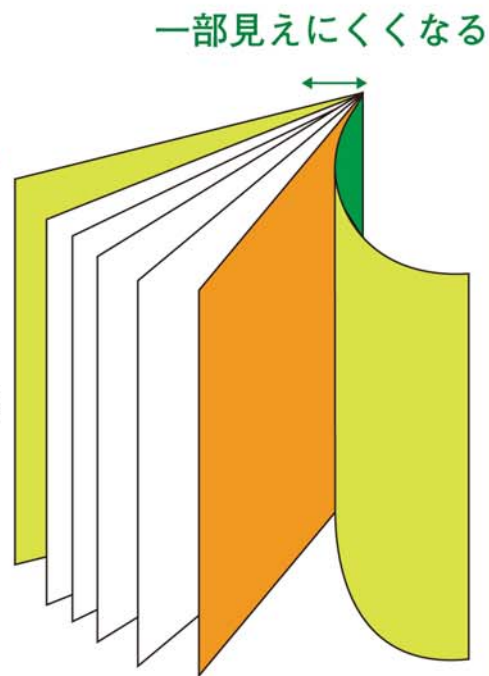
表示、非表示、レイヤーの順番等は弊社では判断できませんので、必ず統合してからご入稿ください。

他社のテンプレートを使うのはOKだが、

- ・「消してね」と注意書きのあるレイヤーは消す
- ・画像を結合してから入稿する

これは徹底してほしい。

無線綴じの場合、ノドに近い部分はどうしても見えにくい部分ができる。どのくらいの範囲が見えにくくなるかは本の大きさやページ数によってまちまち。どうしても心配、という人は文字は仕上がりから2～3cmほど内側にとっていてくれれば問題ない。



右綴じの偶数ページの左側、左綴じの奇数ページの右側、左綴じの偶数ページの左側、右綴じの奇数ページの右側

右綴じの奇数ページの右側、左綴じの偶数ページの右側、左綴じの偶数ページの右側、右綴じの奇数ページの右側

↓ 仕上がり位置 ↓

← 塗りだし (絵はピンクの範囲まで描く)

→ 塗りだし (ココに文字があると切れるので注意)